

平成 24 年度通常（第 1 回）理事会議事録

日 時： 平成 24 年 6 月 16 日（土） 14：30～16：30

場 所： 岸記念体育会館 1 階 101 会議室

出席理事：（敬称略、順不同）

河野博文、西岡一正、植松眞、森山雄一、中川千鶴子、前田彰一、児玉萬平、鈴木修、齋藤涉、鈴木國央（委任：山本嘉一）、山田州子（委任：河野博文）、末木創造、松原宏之、中澤信夫（委任：児玉萬平）、餅啓一、相澤孝司、平井昭光、森信和、坂谷定生、高間博之、山本嘉一、守本孝造、井川史朗、斉藤修（委任：前田彰一）、吉留容子、剥岩政次

以上 26 名、委任状 4 名

出席監事：浪川宏、栗原博、中村隆夫

以上 3 名

オブザーバー：黒川重男レース委員長、増田開ルール委員長、山川雅之医事・科学委員長、斉藤威普及委員長、鈴木保夫外洋総務委員長、大坪明外洋安全委員長、永井真美環境委員長、庄司一夫総務委員長、宇都光伸外洋南九州会長、豊崎謙広報委員

議事の経過及び結果

（定足数の確認）

理事 26 名、出席者 22 名（内、委任状 4 名）により、定款 34 条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立した。

（議長による開会宣言）

定款 33 条に基づいて、河野博文会長が議長となり、平成 24 年度通常（第 1 回）理事会の開会を宣言し、議事進行を前田彰一専務理事に委任した。

（議事録署名人）

本理事会の議事録署名人として、議長指名により、松原宏之、森信和の両理事が任命された。

河野会長から、平成 24 年度定時評議員会で正式に理事候補者が承認されて最初の理事会となる。重要案件につき、審議をお願いしたいとの挨拶があった。

< 審議事項 >

1) 平成 24・25 年度名誉総裁・名誉会長・顧問・参与

前田専務理事から資料に基づき、平成 24・25 年度名誉総裁・名誉会長・顧問・参与について説明があった。

名誉総裁の高円宮妃殿下、名誉会長の山崎達光氏は留任、顧問の小田切満寿雄氏、並木茂士氏、戸田邦司氏は留任、新任に前副会長の秋山雄治氏、参与の岩田行史氏、大谷たかを氏、鈴木保夫氏、青山篤氏は留任、小山泰彦氏が参与に新任した。定款第 28 条理事会

の同意を得て会長委嘱する。また、平成 24 年度定時評議員会で正式に理事候補者が承認され、本理事会において定款第 22 条理事会の決議により、理事の中から選任する。会長に河野博文氏、副会長に西岡一正、植松眞、森山雄一、中川千鶴子の 4 名、専務理事に前田彰一、常務理事に児玉萬平、鈴木修の 2 名との発言があった。

全員一致で承認された。

2) 平成 24・25 年度 JSAF 組織 (委員長)

前田専務理事から資料に基づき、平成 23・24 年度 JSAF 組織 (委員長) について説明があった。

総務委員会委員長に鈴木修氏 (新任)、財政委員会委員長に斎藤渉氏、事業委員会委員長に松原宏之氏、事業開発委員会委員長に松原宏之氏、広報委員会委員長に柳澤康信氏、環境委員会委員長に永井真美氏 (新任)、レディース委員会委員長に吉留容子氏 (新任)、ルール委員会委員長に増田開氏、レース委員会委員長に黒川重男氏、ODC 計測委員長に名方俊介氏、指導者委員会委員長に小山泰彦氏、国際委員会委員長に堤智章氏 (新任)、医事・科学委員会委員長に山川雅之氏、ドーピング裁定委員会委員長に棚橋善克氏、普及委員会委員長に斉藤威氏、国体委員会委員長に末木創造氏、オリンピック特別委員会委員長に中村健次氏、ジュニア・ユース育成強化委員会委員長に佐々木共之氏、ジュニアアカデミー委員会委員長に中村公俊氏、キールポート強化委員会委員長に中澤信夫氏、オリンピック招致委員会委員長に河野博文氏、外洋総務委員会委員長に鈴木保夫氏、外洋計測委員会委員長に吉田豊氏 (新任)、外洋安全委員会委員長に大坪明氏、アメリカズカップ委員会委員長に植松眞氏とした。定款第 38 条理事会の同意を得て会長委嘱する。なお、委員会の委員人事については委員長に一任し、委員が決まり次第事務局に送付し、いつでも閲覧できることを条件とするとの発言があった。

大坪外洋安全委員会委員長から、外洋安全委員会内の SR 小委員会ならびに通信小委員会の削除の依頼があった。

全員一致で承認された。

出席している各委員会委員長から挨拶があった。

< 協議事項 >

1) 平成 24 年度行事予定と理事会の進め方

前田専務理事から資料に基づき、平成 24 年度 JSAF 行事予定について提案があった。評議員会 1 回、理事会 5 回、常任委員会 5 回、全国加盟団体代表者会議 1 回とする。常

任委員会は、理事会前に審議項目の整理や提案項目を準備する会議で、対象となる理事にも参加してもらっているとの発言があった。

< 報告事項 >

1) ルール委員会

増田ルール委員長から資料に基づき、ルール委員会報告があった。

JSAF ナショナル・レース・オフィシャルズ資格認定料等について、レース・ODC 計測・ルールの 3 委員会が所管する資格の整合性を目的として見直しを行っている。課題は、資格認定証の発行について、講習会の会計処理について、各資格認定料等の整合性について検討しているとの経過説明があった。次回理事会までに各資格の規程改定案を提出し、本年 12 月から予定されている更新講習から改定規程を適用する。また、本年度は 4 年に 1 度の規則改定であり、ルールブックの価格は前回同様にしたいとの発言があり、承認された。

2) 総務委員会

庄司前総務委員長から資料に基づき、総務委員会報告があった。

日本スポーツ仲裁機構から JSAF として平成 16 年に機関決定された「スポーツ仲裁規則に従って仲裁される」の確認依頼があり、現状特に変更がないので過去の決定を継続したいとの発言があり、承認された。

3) 会員増強プロジェクト

鈴木常務理事から資料に基づき、会員増強プロジェクト報告があった。

会員増強プロジェクトにおいて、7 月中に各水域に直接アンケート調査を配布する。各団体へメンバー増強策を働きかけることでシステム構築していきたいとの発言があった。

平井理事から、外洋団体では自動振替を行っているが、クレジットカード支払等はシステム上で対応できるかとの提案があった。

森山副会長から、潜在的なメンバーを発掘していくことが大切であるとの発言があった。

河野会長から、現在のセーリング人口は約 20～30 万人と聞いているが、過去にも議論している方策を始めるべきであるとの発言があった。

相澤理事から、オープンレース参加者を JSAF に登録していただくシステムを構築できないかとの提案があった。

西岡副会長から、JSAF のイメージ調査が必要なのではとの発言があった。

中川副会長から、国体参加県連や学連の大会等は監督・コーチの JSAF メンバー登録が

条件であるとの発言があった。

河野会長から、各加盟団体において、メンバーの詳細などの実態は把握しているのかとの質問があった。

平井理事から、メンバー登録を積極的に扱っていない特別加盟団体では、詳細なデータを把握はしていないとの発言があった。

4) 平成 24 年度臨時第 1 回理事会議事録(案)

前田専務理事から資料に基づき、平成 24 年度臨時第 1 回理事会議事録(案)について報告があった。

5) その他

児玉常務理事から、沖縄東海ヨットレース 2012 事故状況資料の取扱について、再度注意の依頼があった。

前田専務理事から指導者委員会の提出資料に基づき、「全国安全指導者養成講習会」開催の案内があった。

前田専務理事から資料に基づき、ロンドンオリンピック 2012「1 億 2500 万人大応援団」の案内があった。

前田専務理事から、ロンドン五輪セーリング競技日本代表選手団壮行会が 6 月 29 日(金)に開催するとの発言があった。

前田専務理事から、通常第 2 回理事会は 9 月 8 日(土)に開催するとの発言があった。

平成 24 年度通常(第 1 回)理事会は、上記の通り議決ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名・捺印する。

平成 24 年 6 月 16 日

議 長 会 長 河 野 博 文

議事録署名人 理 事 松 原 宏 之

議事録署名人 理 事 森 信 和

副 会 長 西 岡 一 正

副 会 長 植 松 眞

副 会 長 森 山 雄 一

副 会 長 中 川 千 鶴 子

専 務 理 事 前 田 彰 一

常 務 理 事 児 玉 萬 平

常 務 理 事 鈴 木 修

監 事 浪 川 宏

監 事 栗 原 博

監 事 中 村 隆 夫